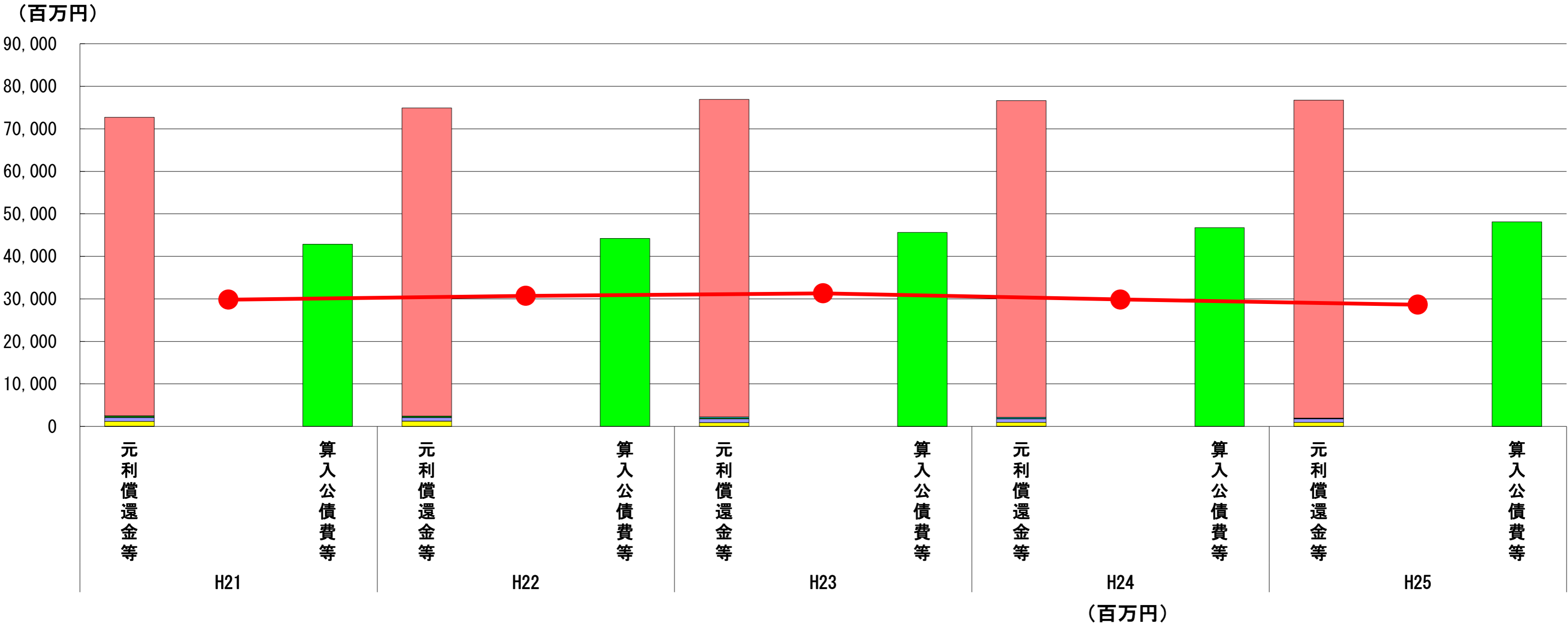


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（都道府県）

平成25年度

和歌山県



分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
元利償還金等 (A)	元利償還金		70,183	72,455	74,724	74,526	74,790
	減債基金積立不足算定額		-	-	192	181	107
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		437	370	267	167	67
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		880	858	846	800	848
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		1,159	1,208	906	918	917
	一時借入金の利子		34	22	16	44	16
算入公債費等 (B)	算入公債費等		42,871	44,207	45,656	46,783	48,117
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		29,822	30,706	31,295	29,853	28,628

分析欄

退職手当債等の資金手当債の償還額が増加しているものの、交付税措置される割合の低い一般単独事業債等の償還が終了したこと等により、分子の額は前年度に比べて12億円減少している。

今後は、退職手当債等の交付税措置のない地方債の償還が本格化し、公債費は増加していくと考えられるため、引き続き資金手当債の発行を抑制するとともに、20年償還を基本としていた銀行等引受債の30年償還への転換を継続し、公債費負担の平準化に努めていく。